

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月13日

上場会社名 株式会社新潟放送 上場取引所 東  
 コード番号 9408 URL http://www.ohbsn.com  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹石 松次  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役経営管理局长 (氏名) 赤塚 幸 (TEL) 025-267-4111  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日~平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	14,808	2.1	333	—	360	—	93	1,439.7
25年3月期第3四半期	14,507	7.0	△62	—	△33	—	6	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 77百万円(—%) 25年3月期第3四半期 △168百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	15.63	—
25年3月期第3四半期	1.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	20,300	13,284	59.0
25年3月期	21,045	13,269	56.7

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 11,985百万円 25年3月期 11,934百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
26年3月期	—	3.75	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	3.75	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日~平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,278	0.1	774	27.9	792	24.7	365	36.2	60.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	6,000,000株	25年3月期	6,000,000株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	694株	25年3月期	640株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	5,999,317株	25年3月期3Q	5,999,360株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## 個別業績予想

平成26年3月期の個別業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	6,720	2.5	590	56.5	△75	—	△12	50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料P3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10
5. (参考) 個別業績の概要	10
(1) 個別経営成績	10
(2) 個別財政状態	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策への期待感を受けた円安・株高の流れから企業業績が改善し、個人消費も持ち直すなど景気は緩やかな回復をみせました。反面、円安の影響による原材料価格の上昇など景気の押し下げ要因もあり、依然として先行き不透明な状況が続いています。

放送業界におきましては、ラジオにおいては依然として低迷を余儀なくされましたが、テレビではスポット広告に一部持ち直しの動きが見られました。

また、情報サービス業界におきましては、先送りされてきた情報システム投資の再開の動きが見られた反面、単価の下落傾向などにより、厳しい状況が続きました。

このような状況のなかで、それぞれ異なる分野で事業活動を展開する当社グループは、各事業部門において積極的な営業活動とサービスの提供に努めた結果、当第3四半期における連結売上高は148億8百万円（前年同期比102.1%）、3億1百万円の増収となりました。一方で、営業費用は前年同期に比べ9千5百万円減少し、利益面におきましては、営業利益は3億3千3百万円の計上（前年同期は6千2百万円の損失計上）、経常利益は3億6千万円の計上（前年同期は3千3百万円の損失計上）となり、四半期純利益では9千3百万円（前年同期は6百万円の利益計上）となりました。

事業の部門別の概況は次のとおりであります。

## [放送事業]

放送事業におきましては、放送収入では、ラジオ部門ではスポット収入・タイム収入ともに前年同期を下回り、低下傾向に歯止めをかけることができませんでした。テレビ部門では、期前半からスポット収入が好調に推移しましたが、タイム収入では昨年実施した60周年記念番組による実績を補うことができませんでした。その他の収入では、第3四半期においても「新潟ラーメン王国」「全国門前町サミットin弥彦」など新規事業を展開したことにより、前年実績を大幅に上回りました。一方で、営業費用におきましては、全社的にコスト削減に努めた結果、前年実績を下回りました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は50億6百万円（前年同期比102.1%）となり、営業利益は3億6千4百万円の計上（前年同期比165.4%）となりました。

## [情報処理サービス事業]

情報処理サービス事業におきましては、産業部門では、XPサポート終了によるシステム更新や医療情報システムを受注できたことで営業収入は前年を上回りました。一方で、営業費用では外注費の削減を図るなど原価管理を強化したものの、競争入札による価格低下などが響き、利益面では厳しい状況が続きました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は84億1千8百万円（前年同期比101.9%）となり、営業損益では6千4百万円の損失計上（前年同期は3億円の損失計上）となりました。

## [ホテル及び飲食事業]

ホテル及び飲食事業におきましては、新潟市内におけるホテル間の厳しい競争が続くなかで、宿泊部門では団体の宿泊客が減少したことに加え、レストラン部門、宴会部門でも利用客数を伸ばせず、苦戦を強いられました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は8億3千6百万円（前年同期比90.4%）となり、営業損益では3千3百万円の損失計上（前年同期は1千3百万円の損失計上）となりました。

## [建物サービスその他事業]

建物サービスその他事業におきましては、施設管理部門において新規開業ビルの施設管理を受注できたことや、管理物件の設備工事をきめ細かく実施したことにより大幅な増収となりました。また、今期から新たに加わった報道制作部門も増収の要因となりました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は10億9千9百万円（前年同期比135.8%）となり、営業利益は6千7百万円の計上（前年同期比222.7%）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は203億円となり、前連結会計年度末と比較して7億4千4百万円減少いたしました。

資産の部では、流動資産が83億円となり、前連結会計年度末に比べ8億8百万円減少しております。これは主にたな卸資産が7億3千8百万円、その他の流動資産が1億8千5百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が17億9千1百万円減少したことなどによります。固定資産は、120億円となり、前連結会計年度末に比べて6千4百万円の増加となりました。これは主に有形固定資産が9千万円、投資その他の資産が7千万円減少したものの、無形固定資産が2億2千4百万円増加したことによるものであります。

負債の部では、流動負債が43億5千6百万円となり、前連結会計年度末に比べて5億3千8百万円減少しております。これは主に短期借入金が1億1千6百万円増加したものの、未払金が3億8千6百万円、賞与引当金が1億3千2百万円、その他の流動負債が1億3千5百万円減少したことによるものであります。固定負債は26億5千9百万円となり、前連結会計年度末に比べて2億2千1百万円の減少となりました。これは主に長期借入金が2億6百万円減少したことによります。

純資産の部では、その他有価証券評価差額金の増加9百万円、利益剰余金の増加4千1百万円、少数株主持分の減少3千5百万円により132億8千4百万円となり、前連結会計年度末に比べて1千5百万円増加いたしました。以上の結果、自己資本比率は59.0%となり、前連結会計年度末に比べて2.3ポイントの増加となりました。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第4四半期以降の見通しにつきましては、放送事業におけるテレビスポット広告の動向及び情報処理サービス事業における売上の動向が不透明であります。当社グループは、各事業部門において今まで以上に積極的、かつ、きめ細かな営業活動とサービスの提供に努め収益の確保に傾注するとともに、引き続き、各事業部門においてさらなるコストの削減を図ります。

以上の見通し及び方針に基づき、連結業績予想につきましては、平成25年5月14日に公表いたしました「平成26年3月期の通期業績予想」を修正しておりません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

項目	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
税金費用の計算	当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,170,878	3,214,591
受取手形及び売掛金	4,826,027	3,034,929
有価証券	231,161	286,249
商品	80,085	267,227
原材料	11,035	36,474
仕掛品	211,381	737,362
繰延税金資産	191,095	147,608
その他の流動資産	399,380	584,649
貸倒引当金	△12,063	△8,881
流動資産合計	9,108,981	8,300,211
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,263,200	3,144,627
土地	2,312,815	2,312,815
リース資産（純額）	1,188,380	1,198,085
その他（純額）	895,591	914,170
有形固定資産合計	7,659,987	7,569,699
無形固定資産		
	466,297	691,227
投資その他の資産		
投資有価証券	2,050,363	2,017,009
繰延税金資産	780,172	623,048
その他の投資及びその他の資産	1,022,072	1,141,811
貸倒引当金	△42,387	△42,062
投資その他の資産合計	3,810,221	3,739,806
固定資産合計	11,936,507	12,000,733
資産合計	21,045,488	20,300,945



（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	2,648,810	2,262,526
短期借入金	909,840	1,026,340
賞与引当金	408,639	275,935
その他の流動負債	927,688	791,874
流動負債合計	4,894,979	4,356,676
固定負債		
長期借入金	1,288,290	1,081,410
リース債務	856,359	863,419
退職給付引当金	325,941	313,319
役員退職慰労引当金	280,097	272,142
アナログ放送設備解体引当金	32,118	33,361
その他の固定負債	98,221	96,058
固定負債合計	2,881,027	2,659,710
負債合計	7,776,006	7,016,387
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	300,000	300,000
資本剰余金	5,750	5,750
利益剰余金	11,575,638	11,616,936
自己株式	△444	△473
株主資本合計	11,880,944	11,922,213
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	53,924	63,373
その他の包括利益累計額合計	53,924	63,373
少数株主持分	1,334,612	1,298,970
純資産合計	13,269,482	13,284,557
負債純資産合計	21,045,488	20,300,945

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	14,507,390	14,808,415
売上原価	10,809,615	10,771,215
売上総利益	3,697,774	4,037,199
販売費及び一般管理費	3,760,510	3,703,649
営業利益又は営業損失(△)	△62,735	333,549
営業外収益		
受取利息	1,973	2,419
受取配当金	41,402	35,450
受取賃貸料	5,873	4,708
その他	14,253	20,171
営業外収益合計	63,503	62,750
営業外費用		
支払利息	28,278	25,740
その他	5,705	9,652
営業外費用合計	33,984	35,393
経常利益又は経常損失(△)	△33,215	360,907
特別利益		
固定資産売却益	39,325	—
固定資産受贈益	—	34,303
投資有価証券売却益	1,481	5,275
その他	2,266	67
特別利益合計	43,073	39,646
特別損失		
固定資産除却損	11,117	7,347
固定資産処分損	—	66,531
アナログ放送設備解体引当金繰入額	29,330	17,210
その他	668	991
特別損失合計	41,115	92,079
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△31,257	308,473
法人税等	26,453	240,204
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△57,711	68,269
少数株主損失(△)	△63,803	△25,522
四半期純利益	6,091	93,791

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△57,711	68,269
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△110,711	9,358
その他の包括利益合計	△110,711	9,358
四半期包括利益	△168,423	77,628
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△104,538	103,241
少数株主に係る四半期包括利益	△63,884	△25,612

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注2)
	放送事業	情報処理サ ービス事業	ホテル及び 飲食事業	建物サービ スその他事 業	計		
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	4,810,944	8,210,543	908,317	577,585	14,507,390	—	14,507,390
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	92,884	51,288	16,457	231,815	392,445	△392,445	—
計	4,903,828	8,261,831	924,775	809,401	14,899,836	△392,445	14,507,390
セグメント利益又は損失 (△)	220,437	△300,954	△13,785	30,114	△64,188	1,452	△62,735

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注2)
	放送事業	情報処理サ ービス事業	ホテル及び 飲食事業	建物サービ スその他事 業	計		
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	4,910,367	8,340,724	818,681	738,642	14,808,415	—	14,808,415
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	96,539	77,422	17,483	360,478	551,924	△551,924	—
計	5,006,906	8,418,147	836,164	1,099,121	15,360,340	△551,924	14,808,415
セグメント利益又は損失 (△)	364,639	△64,447	△33,598	67,050	333,643	△93	333,549

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (重要な後発事象)

## 重要な子会社等の株式の売却

当社は、平成26年1月14日開催の取締役会において、連結子会社である株式会社イタリア軒の全株式を新潟市に拠点を置く株式会社NSGホールディングスに譲渡することを決議いたしました。

## 1. 譲渡の理由

株式会社イタリア軒は、大正9年10月に設立され、昭和38年6月に当社が同社の発行済株式の過半数を取得し、連結子会社といたしました。ホテル及び飲食業を主な事業としておりますが、ホテル業界においては、顧客の多様化及びホテルの新規参入により今後ますます競争が激しくなるものと予想されます。このような環境下において、当社グループにおける経営資源の有効配分を検討した結果、当社が保有する同社の全株式を株式会社NSGホールディングスへ譲渡することを決定いたしました。

## 2. 譲渡対象会社の概要

(1) 名称	株式会社イタリア軒
(2) 事業内容	ホテル及び飲食事業
(3) 当社との取引関係	ホテル及び飲食に係わる取引、土地建物の賃貸、資金の貸付

## 3. 譲渡株式数、譲渡価額及び譲渡後の所有株式の状況

(1) 譲渡株式数	3,080,000株
(2) 譲渡価額	1円
(3) 異動後の所有株式数	0株（所有割合： 0%）

## 5. (参考) 個別業績の概要

平成26年3月期第3四半期の業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

## (1) 個別経営成績

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	5,006	2.1	364	65.4	420	51.4	123	△19.2
25年3月期第3四半期	4,903	0.5	220	—	277	—	153	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	20 64	—
25年3月期第3四半期	25 56	—

## (2) 個別財政状態

	総資産	純資産
	百万円	百万円
26年3月期第3四半期	11,494	9,692
25年3月期	11,556	9,611